

日本の民話

かくやひめ
(絵本の表紙)

佐賀の民話
(絵本の表紙)

かさこじぞう
(絵本の表紙)

世界の民話

- ・ 読みたい本がたくさんある。
- ・ いろいろな国の民話を知りたい。

おもしろいところ
・ じぞうさまが動くところ
・ じぞうさまが米や野菜をもってくるところ
「じよいやま」
(かけ声)
楽しさ・意外さ
言い方

単元のめあて

世界の民話のおもしろさをカードでしようかいしよう

まず、

「木かげにころり」



次に
「世界の民話で」

場面のうつりかわりと人物のようすや
気持ちを読み取ることができる。

民話のおもしろさを見つけることができる

しょうかいカード
あらすじ
おもしろかつ
たところ

【1 / 9 時間目 指導略案】 使用するワークシート…
活動のねらい

学習の見通しをもち、世界の民話を興味をもって読もうとしている。

1 知っている日本の民話について発表する。

日本の民話の表紙(カラー)「ピー」等でもよいでしょう)を基にして、知っている民話についてどんな話を発表し合う。

* 「こ」では、民話についての興味・関心を引き出すよう工夫します。

2 外国にも民話があることを知り、読んだ民話を紹介するという単元のめあてを確認する。

外国の民話の絵本を見せ、簡単な内容を話し、おもしろい話がたくさんあることを知らせる。

* 「さんねん峠」「すんだことはすんだこと」など、教科書⁹、ページを参考にします。みんなが民話のおもしろさを知ることができるように、「こ」世界の民話のおもしろさをカードでしようかいしよう」というめあてをもたせる。

(発問) 紹介カードにはどんなことを書いたらよいでしょう。

紹介カードには、あらすじとおもしろかつたところを書くことを決め、単元を通して身に付ける力を提示し、意欲をもたせる。

* あらすじのまとめ方は、六月単元「ゆづすげ村の小さな旅館」で学習していることを踏まえて、本単元では目的に応じたあらすじを考えさせます。まとめることがうまくできない児童が多い場合には、本単元で十分な指導を行う必要があります。

3 大まかな学習の計画を立てる。

「木かげにころり」でカードを書く練習をする 世界の民話を読んで紹介カードを書く

【評価】学習の見通しをもち、世界の民話に興味をもって、進んで読もうとしている。

4 本時を振り返り、次時について知る。

学習の見通しについてふりかえりを書かせる。

「木かげにころり」を読み、カード作りを始めることを知らせる。